

各位

インドネシア投資省（BKPM）投資促進政策アドバイザー
JICA（国際協力機構）専門家・天谷浩之

目的：インドネシア政府構想・投資誘致プロジェクト

『化学産業の振興に向けた廃棄物発電インフラ開発プロジェクト』に関わる視察会
へのご関心伺い

ー化学品メーカーおよび廃棄物発電関係事業者のインドネシアでのビジネス機会に
関わるご案内ー

ご案内の背景：

インドネシア東カリマンタン州に開発中の新首都ヌサンタラでのクロールアルカリブ
ロセス技術を用いた苛性ソーダおよび塩化水素の生産ならびにその電力源としての廃棄
物発電事業に関する投資機会についてご案内させていただきます。

ご高承のとおり、インドネシアでは東カリマンタンへの 2045 年までの首都移転
（新首都ヌサンタラ/IKN）に向け 5 段階のフェーズにもとづく都市開発に取り組ん
でおります。IKN は政府機能の移転だけでなく経済活動の移転も重視しており、
Economic Superhub の実現に向け下記 6 つの経済クラスターの開発を掲げています。

**(1)低炭素エネルギー (2)再生可能エネルギーによる次世代産業 (3)統合医療
(4)サステナブル農業 (5)エコツーリズム (6)先端化学関連**

この中で（6）のクラスター開発において、広く産業界で使用される苛性ソーダ
および塩化水素をバリクパパン湾の海水から生産するための化学産業の振興が課題
となっています。また、2060 年までのカーボンニュートラル（CN）実現を表明し、
バイオマス発電を含めた電源の脱炭素化の実現を目指しているインドネシア政府は
上記（1）、（2）の開発方針の一環として、同化学産業の電力源に廃棄物発電の利
用を掲げ、このたび東カリマンタン州西バリクパパンを事業サイトとする『化学産
業の振興に向けた廃棄物発電インフラ開発プロジェクト』を構想し、投資省
（BKPM）が窓口となって日本をはじめ広く外国企業の投資を呼びかけ、外資の協
力を得ながら脱炭素化を通じた化学産業の振興を図ろうとしております。

《プロジェクト名》

Renewable Energy Infrastructure (Waste) for The Chemical Industry Project

《プロジェクトの目的》

脱炭素化（廃棄物発電）を通じた化学産業の振興を図ること

《プロジェクトサイト》

東カリマンタン・バリクパパン（バリクパパン空港から 24.1Km）

Kariangau Village, West Balikpapan District, Balikpapan City

《生産品と生産目標》

Product1: Electricity Production/ 16MW

Product2: NaOH(水酸化ナトリウム)/48,312 tons/年

Product3: HCL (塩化水素) /37,224 tons/年

プロジェクトサイト、税制面のインセンティブ、インフラ状況、投資価値分析を含めインドネシア政府が実施した本プロジェクトの調査情報が下記ウェブサイトに記されておりますのでご一読いただけましたら幸いです。

<https://regionalinvestment.bkpm.go.id/pir/pejuang-investasi/detail/?id=1301>

ご案内の趣旨（現地視察会へのご関心伺い）：

本プロジェクトに関する詳細情報の収集にご関心をお寄せいただける企業さまが複数おられるようでしたら BKPM 主催にて現地視察会を企画したいと考えており、これにつきまして各社さまのご関心の程をお伺いさせていただきたくご案内させていただきます次第です。

視察会では BKPM からのプロジェクトの詳細説明はもちろん、本プロジェクト構想の背景、本プロジェクトに関わる産業セクターの現状とインドネシア政府による振興施策、再生エネルギー政策及び環境政策(規制)の動向、廃棄物の収集・処理状況、廃棄物集積場所、廃棄物以外の物の混焼がある場合はその現物確認、バリクパパン湾（取水源）の視察、本プロジェクトについてインドネシア政府が実施した市場調査の報告、本プロジェクトに参画した場合の各種インセンティブや事業実施にあたっての許認可の詳細、プロジェクト関連施設の視察、原料供給元などプロジェクト関係機関・企業とのネットワーキング、日本人駐在員を派遣する場合の生活環境の視察（医療機関、住居施設、教育施設（インターナショナルスクール）、商業施設、娯楽施設等）のプログラムを用意させていただき予定です。

さらに、同視察プログラムの一環として、工業省はじめインドネシア政府の協力を得て、本プロジェクトに参画される日本企業がいらした場合に当該企業との取引（バイヤー、サプライヤー、ディストリビューター、技術協力等）を希望する実績のあるインドネシア企業を選定し、当該企業らによるプレゼンテーション、名刺交換会を実施しながら本視察会参加企業の販路開拓等のお手伝いもさせていただきたいと考えております。

（視察会にご関心のある企業さま）

つきましては、当方で想定しております下記視察会スケジュール案をご参照のうえ、FS 活動の一環として本視察会へのご参加にご関心のある企業さま（業種は問いません）におかれましては 2024 年 5 月 31 日（金）までに JICA 専門家（天谷）宛にご連絡をいただけますと幸いです。視察会を企画させていただきことになりました場合はご連絡者さまに直接ご案内差し上げます。

ご連絡の際は、下記事項をご教示ください。

- ・JICA 民連事業利用企業またはジャカルタジャパンクラブ会員企業である旨
 - ・企業名 ・連絡者名 ・メールアドレス ・ご関心のあるプロジェクト名（複数可）
- （ご連絡先）

インドネシア投資省投資促進政策アドバイザー 天谷浩之

amaya.jica.bkpm@gmail.com

携帯電話：+62-(0)81119527174

視察会スケジュール（案）：

現状以下のようなスケジュールを想定しておりますが、実施前に他国を含む他の企業が投資への関心を表明し、インドネシア政府から追加のプロジェクトサイトの提供が無く本プロジェクトの公募が停止または終了した場合はその時点で本視察会の催行はキャンセルとさせていただきます。その場合、視察会実施予定日二週間前までにご連絡いたします。

《視察会実施時期》2024年7月上旬から8月上旬までの間

《渡航日程（想定）》

月曜/東京→ジャカルタ（日本や他国からご参加の場合）

火曜/午前：プロジェクト詳細説明(BKPM,工業省等) 於：ジャカルタ市内ホテル

午後：日本企業との取引を希望するインドネシア企業のプレゼンテーション

水曜/午前：ジャカルタ→バリクパパン（空路移動）

午後：プロジェクトサイト視察第1日目 現地泊

木曜/終日：プロジェクトサイト視察第2日目 現地泊

金曜/午前：バリクパパン→ジャカルタ（空路移動）

午前～午後：インドネシア政府との総括質疑応答 於：投資省庁舎

（日本からご参加の場合）21:00～24:00の便で日本へご帰国

経費（想定）：

（参加企業）参加企業には下記の経費のご負担をお願いします。

航空券代：(国際線) 日本や他国⇄ジャカルタ（日本や他国からご参加の場合）

(国内線) ジャカルタ⇄バリクパパン空港

宿泊代：ジャカルタ滞在中の宿泊代（日本や他国からご参加の場合）

バリクパパン滞在中の宿泊代

飲食代、その他：視察会参加時の飲食代、その他個別行動に伴う諸経費

(JICA)

会議室借料：カンファレンスルームの借料（於：ジャカルタ、バリクパパン）

車両借上代：現地視察中の送迎車両の借料（於：ジャカルタ、バリクパパン）

通訳者（日本語⇄尼語）備上代：於：ジャカルタ、バリクパパン

以上